

M-3-6-19

資料名 鐵路總局福祉事業へノ一考察

出所 囑託 古閑亮

作成年 193603

寄贈者 鐵道總局福祉課

受入

注記 37P 25×18cm

康德三年三月

鐵路總局福祉事業へノ一考察

囑託 古閑 亮



寄贈者

南滿洲鐵道株式會社
鐵道總局福社課

年 月 日

總局ト福社事業

新興滿洲國ノ肇立ト共ニ張家多年ノ武力政治カ崩壞シ政治、經濟、文化ノ凡ニル方面ニ舊套ヲ脱シテ日新日進、一年復一年安居樂業ノ王道政治ハ異常ノ發展ヲ遂ケ茲ニ日滿兩國ハ理想ヲ同シウシ、運命ヲ共ニシ、不可分ノ契盟ヲ強固ニシテ人類史上曠大ノ鴻業雄圖カ伸揚具現セラレツツアル。

滿洲國ハ建國ノ當初ヨリ國內全鐵道ノ路政ヲ舉ケテ之ヲ滿鐵ニ委任シタルカ時運ノ進展ニ從ヒ其ノ鐵道交通ハ全然新シキ立場ニ於テ文化的意義ヲ有スルモノナルヲ以テ國防ト治安ノ確保産業ト文化ノ開發テフ國家的使命ニ立チ一貫セル方針ノ下ニ之ヲ鐵路總局ニ於テ綜合的ニ經營ヲ統制スルコトニナリ更ニ昨年三月北鐵接收ト共ニ之ヲモ國鐵ノ經營ト爲シ全滿路政ノ一體化ニ一大飛躍カ行ハレ千八百九十七年以來滿洲ニ築カレタステラヴノ文化的勢力カ四十年振ニ全然其ノ影ヲ没スルニ至ツタノハ實ニ歴史的大景觀テアル。

國鐵ノ現在ハ三十五線七千三百八十四杆（內廣軌一四八二杆）ニ涉リ約

國籍ノ別ニ分テハ三十三萬五千三百八十四名（内滿洲一四八二名）ニシテ、其
 中滿洲人ノ數ハ一萬四千五百八十二名、日本人ハ一萬四千五百八十二名、露人ハ一萬四千五百八十二名、
 朝鮮人ハ一萬四千五百八十二名、蒙古人ハ一萬四千五百八十二名、其他ノ國籍ノ人ハ一萬四千五百八十二名、

又ハ、本國ノ鐵道ハ、一九一四年ノ末ニ至リテ、全長一萬四千五百八十二里、其
 中、國有ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、私營ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、
 又ハ、本國ノ鐵道ハ、一九一四年ノ末ニ至リテ、全長一萬四千五百八十二里、
 其中国有ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、私營ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、
 又ハ、本國ノ鐵道ハ、一九一四年ノ末ニ至リテ、全長一萬四千五百八十二里、
 其中国有ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、私營ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、

又ハ、本國ノ鐵道ハ、一九一四年ノ末ニ至リテ、全長一萬四千五百八十二里、
 其中国有ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、私營ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、
 又ハ、本國ノ鐵道ハ、一九一四年ノ末ニ至リテ、全長一萬四千五百八十二里、
 其中国有ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、私營ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、
 又ハ、本國ノ鐵道ハ、一九一四年ノ末ニ至リテ、全長一萬四千五百八十二里、
 其中国有ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、私營ノ鐵道ハ、一萬四千五百八十二里、

五萬八千ノ滿人（八割弱）一萬四千五百ノ日人（一割九分）一千八百ノ
 露人合計七萬五千四百五十ノ鐵道員並松花江水運及自動車經營ノ從事員
 アリ一軒ノ從事員數十人強ニ當ツテ居ル加之國鐵沿線兩側五軒以内ニ三千
 百六十餘ノ鐵路愛護村アリテ車窓ヨリ村旗ノ翻繖タルカ見エ此ノ戶數
 萬 千戸加盟員六百萬人ニ達シテキル

	滿 人	日 人	露 人	計
鐵路總局	四四五	一九七三	一	二四一八
奉天鐵路局	一六、四四一	二、一八五	一四八	一八七七四
吉林鐵路局	一〇、二一二	四、〇七九	二〇	一四三一
哈爾濱鐵路局	一九、四〇七	四、五四二	一、六四七	二五、五九六
齊齊哈爾鐵路局	二、二四二	一、四二四	一	
哈爾濱水運局	四四九	二三一	八	
合 計	五八一、九六一	四四、三四	一、八二三	七五、四四三

抑鐵道ヲ國家並地方ニ對シテ有スル地位並重要性ハ恰モ人體ニ於テハ

此 專業ハ日人組織ニ因テス然ラモ結果ニテハ日人ヲムラシク組織シテ

又 組織ハ普通論ニ當テテハ其ノ組織ノ目的ハ其ノ組織ノ目的ニ依リテ

又 組織ハ普通論ニ當テテハ其ノ組織ノ目的ハ其ノ組織ノ目的ニ依リテ

又 組織ハ普通論ニ當テテハ其ノ組織ノ目的ハ其ノ組織ノ目的ニ依リテ

又 組織ハ普通論ニ當テテハ其ノ組織ノ目的ハ其ノ組織ノ目的ニ依リテ

又 組織ハ普通論ニ當テテハ其ノ組織ノ目的ハ其ノ組織ノ目的ニ依リテ

又 組織ハ普通論ニ當テテハ其ノ組織ノ目的ハ其ノ組織ノ目的ニ依リテ

又 組織ハ普通論ニ當テテハ其ノ組織ノ目的ハ其ノ組織ノ目的ニ依リテ

場アタリナ経倫ヲ避ケ豫算ニ依リ之ヲ運営スヘシ

一〇 日滿兩國ノ官公機關ト緊密ナル連絡協調ヲ保チ事業ノ重複ヲ避ク

ヘシ

一一 總局ハ福祉事務ノ大局ヲ總轄シ事業ノ企畫、運営、連絡、監理ニ

任シ各階局ハ各其ノ實施ノ責ニ當ルヘシ

一二 何レノ事業タルヲ問ハス其ノ根本的要素ハ人間ノ問題ニシテ殊ニ

福祉事業ニ從事スルモノハ自家ノ精神的生活ニ一段ノ工夫アラシムヘシ

一〇 臨時事務ノ總括統制
 一 臨時事務ノ總括統制
 二 臨時事務ノ總括統制
 三 臨時事務ノ總括統制
 四 臨時事務ノ總括統制
 五 臨時事務ノ總括統制
 六 臨時事務ノ總括統制
 七 臨時事務ノ總括統制
 八 臨時事務ノ總括統制
 九 臨時事務ノ總括統制
 一〇 臨時事務ノ總括統制

福祉係管掌事務體系

一 庶務

- 1 福祉事務ノ總括統制
- 2 人事ニ關スル事項
- 3 文書ノ閱改、收發、保管ニ關スル事項
- 4 豫算ニ關スル事項
- 5 物品ノ保管ニ關スル事項
- 6 營繕ニ關スル事項
- 7 打字謄寫淨寫ニ關スル事項
- 8 他班ニ屬セサル事項

二 調査

- 1 人文、福祉並生活問題ノ研究調査ニ關スル事項
- 2 同上資料ノ蒐集、整理保存ニ關スル事項
- 3 研究調査統計資料ノ編纂並刊行ニ關スル事項
- 4 パンフレット、リーフレット其ノ他ノ刊行物ニ關スル事項

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

三 餘 論

...

5 宣傳ニ關スル事項

三 教 化

1 民族融和ニ關スル事項

2 思想善導ニ關スル事項

3 宗教的情操ノ涵養ニ關スル事項

4 生活改善ニ關スル事項

5 青年團、婦人團、少年團其ノ他教化團體ノ助成、連絡、指導ニ關スル事項

6 従事員及家族ノ教化並指導ニ關スル事項

7 兒童校外指導ニ關スル事項

巡回映畫、巡回童話、兒童遊園

8 講演ニ關スル事項

經濟問題、學術、精神修養、生活、婦人、兒童問題等

9 講習ニ關スル事項

家政、育兒、料理、手藝、看護等

本誌は、健康増進の目的を以て、国民の健康を第一とし、そのために必要な事項を、簡明扼要に紹介する。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。本誌の発行は、国民の健康増進に資するものと信ずる。

- 3 リクリエーションニ關スル事項
- 4 運動會、競技會ノ開催並後援ニ關スル事項
- 5 體育指導者養成ニ關スル事項
- 6 體育運動施設ノ管理ニ關スル事項
- 7 河海水浴場、夏期襲落ニ關スル事項
- 8 體育團體ノ連絡並統制ニ關スル事項
- 9 保健衛生思想ノ普及ニ關スル事項
- 10 健康相談ニ關スル事項
血壓測定、肺活量測定、檢尿、檢便、檢痰、育兒等
- 11 體育相談ニ關スル事項
- 12 保健運動ニ關スル事項
戶外運動、健康週間、健康表彰（少年少女赤ン坊等）

五 慰安

- 1 映畫ニ關スル事項

1. 映画事業の振興に資する事項

2. 映画事業の振興に資する事項

3. 映画事業の振興に資する事項

4. 映画事業の振興に資する事項

5. 映画事業の振興に資する事項

6. 映画事業の振興に資する事項

7. 映画事業の振興に資する事項

8. 映画事業の振興に資する事項

9. 映画事業の振興に資する事項

10. 映画事業の振興に資する事項

11. 映画事業の振興に資する事項

12. 映画事業の振興に資する事項

13. 映画事業の振興に資する事項

14. 映画事業の振興に資する事項

フィルムライブラリーノ充實

フィルム配給整理検閲モンタジユ

映畫事業ノ連絡

2 地方巡映ニ關スル事項

3 慰安車、慰安船、慰安自動車ニ關スル事項

4 映畫技術者養成ニ關スル事項

5 優良演藝興行ノ巡演助成及後援ニ關スル事項

6 ラヂオ、蓄音機ノ巡回並配布ニ關スル事項

7 民衆娛樂ニ關スル事項

8 慰安會並日滿軍警慰問ニ關スル事項

六 社 會

1 共濟制度ノ實施ニ關スル事項

2 減免規定運用ニ關スル事項

3 危害防止安全運動ノ厲行宣傳ニ關スル事項

4 變災事故ニ對スル協力援助ニ關スル事項

- ① 救急事業ニ關スル事項
- ② 救急事業ノ助成並連絡ニ關スル事項
- ③ 救急事業ニ關スル事項
- ④ 救急事業ノ助成並連絡ニ關スル事項

六 衛生

- ① 救急事業ニ關スル事項
- ② 救急事業ノ助成並連絡ニ關スル事項
- ③ 救急事業ニ關スル事項
- ④ 救急事業ノ助成並連絡ニ關スル事項
- ⑤ 救急事業ニ關スル事項
- ⑥ 救急事業ノ助成並連絡ニ關スル事項
- ⑦ 救急事業ニ關スル事項
- ⑧ 救急事業ノ助成並連絡ニ關スル事項

七 生計

- 5 救急箱、擔架、施藥ニ關スル事項
 - 6 社會事業ノ助成並連絡ニ關スル事項
 - 7 社會調査ニ關スル事項
 - 8 救濟保護ニ關スル事項
- 1 從專員生活必需品ノ購買配給ニ關スル件
 食料品、燃料、被服類、日用品、衛生材料
- 2 配給列車ニ關スル事項

- 1 政治、經濟、交通、地理、歷史
- 2 宗教、風俗
- 3 民族、移民、生活
- 4 社會
- 5 婦人、兒童
- 6 共濟、衛生

福祉事業ノ理念及其ノ方針

調査

一 人文福祉並生活問題ノ研究調査ニ關スル事項

總テノ專業ヲ計畫シ之ヲ經營スルニハ用意周到ナル調査ヲ基本ト爲スモノテアルカラ人文福祉生活等ニ關スル問題ヲ考究スルニ當リテモ大體之ヲ左記ノ分類ニ依リ資料ヲ蒐集整理シ置キ要目ヲ定メ研究調査ノ便ニ供スル

書籍、雜誌、新聞、寫眞、ボスタ、傳單等ノ整理モ之ニ準ス

滿洲ハ正滿共味ノ滿洲國ヲイフテ共計三千萬中ノ大抵分ハ西北、山東

一 國策ニ對シテ之ヲ指導スル事

人種問題ノ本國觀念ハ...

二 宣傳ニ關スル事

宣傳ハ教育ノ...

三 宣傳ニ關スル事

宣傳ニ關スル事...

內容ノ分派...

四 宣傳ニ關スル事

宣傳ニ關スル事...

五 宣傳ニ關スル事

宣傳ニ關スル事...

宣傳ニ關スル事...

ノ移住漢民族テアリ鮮人約八十萬ハ主ニ東滿洲ニ住ミ、蒙古人約七十萬ハ西滿洲ニ、固有ノ滿人ハ全滿ニ散在シ約三百萬アリ、白系スラヴ約八萬ト日本人五十萬ハ主ニ鐵道沿線ニ居住シテ居ル。日本人ハ之等諸民族ノ指導的立場ニアリ其ノ責任ノ重大ナルコトヲ自覺シ民族親善ノ長久ナル途カ正義、仁愛ニアルコトヲ知り常ニ此ノ觀念ヲ念頭ニ置キ福祉的行事ノ萬般ニ涉リ之ヲ妥當不偏ニ實行スヘキテアル

二 思想善導ニ關スル事項

現代世相ノ懊惱不安ニ對シ國民ノ明朗ナル理性ト健全ナル判斷ヲ養成スヘク之ヲ善導スルニハ惟神ノ大道ニ則リ教育勸語ノ精神ヲ實踐セシメ滿人ニハ日滿不可分ノ意義ヲ體得セシメ東洋道德ノ眞義ヲ發揚スルヲ以テ主旨トスル

三 從事員及家族ノ教化並指導ニ關スル事項

人ハ總テノ專業ノ根幹テアル、殊ニ從事員ノ大部分ヲ占ムル滿人ノ動向ハ業務上ノミナラス國策上甚重大テアルカラ充分日本人ニ信頼セシメテ後顧ノ憂ナカラシムル様指導シ民族精神ノ發揚ト共ニ公民訓練ニ

一、清潔。二、衛生。三、教育。四、職業。五、娛樂。六、體育。七、藝術。八、科學。九、文學。十、音樂。十一、戲劇。十二、電影。十三、廣播。十四、電視。十五、新聞。十六、雜誌。十七、書籍。十八、報紙。十九、廣告。二十、公關。二十一、公共關係。二十二、社會服務。二十三、社會福利。二十四、社會救濟。二十五、社會保險。二十六、社會救護。二十七、社會救濟。二十八、社會救護。二十九、社會救濟。三十、社會救護。三十一、社會救濟。三十二、社會救護。三十三、社會救濟。三十四、社會救護。三十五、社會救濟。三十六、社會救護。三十七、社會救濟。三十八、社會救護。三十九、社會救濟。四十、社會救護。四十一、社會救濟。四十二、社會救護。四十三、社會救濟。四十四、社會救護。四十五、社會救濟。四十六、社會救護。四十七、社會救濟。四十八、社會救護。四十九、社會救濟。五十、社會救護。五十一、社會救濟。五十二、社會救護。五十三、社會救濟。五十四、社會救護。五十五、社會救濟。五十六、社會救護。五十七、社會救濟。五十八、社會救護。五十九、社會救濟。六十、社會救護。六十一、社會救濟。六十二、社會救護。六十三、社會救濟。六十四、社會救護。六十五、社會救濟。六十六、社會救護。六十七、社會救濟。六十八、社會救護。六十九、社會救濟。七十、社會救護。七十一、社會救濟。七十二、社會救護。七十三、社會救濟。七十四、社會救護。七十五、社會救濟。七十六、社會救護。七十七、社會救濟。七十八、社會救護。七十九、社會救濟。八十、社會救護。八十一、社會救濟。八十二、社會救護。八十三、社會救濟。八十四、社會救護。八十五、社會救濟。八十六、社會救護。八十七、社會救濟。八十八、社會救護。八十九、社會救濟。九十、社會救護。九十一、社會救濟。九十二、社會救護。九十三、社會救濟。九十四、社會救護。九十五、社會救濟。九十六、社會救護。九十七、社會救濟。九十八、社會救護。九十九、社會救濟。一百、社會救護。

五 生活改善ニ關スル事項

新シキ酒ハ新シイ草袋ニ盛リ善キ社會ニハ眞面目ナル生活者ヲ要求スルカ故ニ環境風土ニ順應シ堅實ナル生活ヲ築クニハ因陋テ爾傳統的生
 活ヲ改善シ土著的思想ヲ養成シテ行カネハナラヌ

- 1 家庭經濟觀念ト社會的惡習慣ノ是正
- 2 煩雜ナル生活ヲ避ケ無駄ヲ省キ簡易清楚ナル生活ヲ營マシム
- 3 衣食住ニ關スル合理的生活ノ基調ヲ明ニスル
- 4 生活ノ精神的純化

六 青年團、婦人團、少年團其ノ他教化團體ノ助成連絡指導ニ關スル事項

地方郷民ノ自治的活動ヲ促進セムトセハ郷民團體ノ活動的能力ヲ養成セネハナラヌヲテ婦人會、青年會其ノ他教化團體ノ組織ヲ助成又ハ指導シ、既成團體ノ聯絡ヲ密ニセネハナラヌ。滿人ハ素々團體的意識ヲ缺ク者アリ、偶團體的ノモノアレトモ甚不健全ナルモノナルヲ以テ之ノ指導ヲ必要トス

一、講義の目的
 二、講義の意義
 三、講義の重要性
 四、講義の準備
 五、講義の進行
 六、講義の結論
 七、講義の反省
 八、講義の発展
 九、講義の普及
 十、講義の功徳

七 講演ニ關スル事項

講演ハ人文、經濟、社會、教育、保健、婦人、兒童問題ニ關シ日本及滿洲ニ於ケル學界、思想界方面ノ篤學知名ノ士ヲ招聘シ巡回講演ノプログラムヲ作成スルコト、其ノ有益ナルモノハパンフレットニ刊行ス

八 講習

- 1 國民ノ非文化ハ政治的、經濟的、文化的建設ト其ノ前途ニ最根本的障礙トナルヲ以テ滿人ノ文盲退治運動トシテ識學教育ヲ爲シ何ヨリモ讀ムコトヲ學ハシム
- 2 人間相互ノ結合ヲ持チ來シ精神の融和ノ一致ヲ爲スニ言葉ニ依ル文化結合ヲ爲シ、小ニシテハ業務ノ圓滑ヲ期シ之カ理解ノ手段トシテ日滿語學ノ講習ヲ爲ス
- 3 婦人ノ思想ヲ向上シ家庭生活ノ改善、經濟生活ノ合理化ヲ圖ル爲メ家政、育兒等ニ關スル常識ヲ養フ
- 4 成人講座、殊ニ滿人ニハ通俗的ナル講座ヲ開催ス

社會ノ惡風ヲ矯正シ善良ナル習慣ノ保全ニ努メ堅實ナル風尙ヲ養ヒ以テ國昌民衆ニ和順清明ナル王道樂土ヲ見現スルニ努メシム。殊ニ滿人ニハ國家制定ノ冠婚喪祭、饗飲酒禮ヲ獎勵ス。滿洲國ニ於ケル最大キナ惱ハ阿片問題ニシテ滿人ハ無知テ其ノ恐ルヘキ亡國の魔物ノ害毒ヲ悟ラス其ノ消費一年一億圓ニモ達スルト謂フ。又教化方面ノ大ナル障害ヲ諸惡ノ因縁タルモノハ酒テ、日本國民力之ニ支拂フ年額ハ十五億圓ニ達スルト謂ヒ酒ニ添フテ女アリ、カフエー料理屋ノ紅燈綠酒ニ沈溺シ淪落ノドン底ニ墮落シ淫蕩頹廢ノ惡氣風ニ染ミ花柳病ニ罹ル青年者流ノ少カラスト聞ク。之カ排除ト應濟ハ經濟的風教的健康的方面ニ多大ノ效果ヲ擧ケ得ルモノテアルカ。

一〇 情操教育ニ關スル事項
 情操ノ教育趣味ノ向上ヲ圖リ生活ニ潤ヒアラシムルカ爲ニ繪畫、寫眞、技藝品等ノ展覽會ヲ開催又ハ後援シ或ハ木彫藝術及家庭手藝品ノ製作

九 善行獎勵。敬老ニ關スル事項。矯風易俗ニ關スル事項。社會ノ惡風ヲ矯正シ善良ナル習慣ノ保全ニ努メ堅實ナル風尙ヲ養ヒ以テ國昌民衆ニ和順清明ナル王道樂土ヲ見現スルニ努メシム。殊ニ滿人ニハ國家制定ノ冠婚喪祭、饗飲酒禮ヲ獎勵ス。滿洲國ニ於ケル最大キナ惱ハ阿片問題ニシテ滿人ハ無知テ其ノ恐ルヘキ亡國の魔物ノ害毒ヲ悟ラス其ノ消費一年一億圓ニモ達スルト謂フ。又教化方面ノ大ナル障害ヲ諸惡ノ因縁タルモノハ酒テ、日本國民力之ニ支拂フ年額ハ十五億圓ニ達スルト謂ヒ酒ニ添フテ女アリ、カフエー料理屋ノ紅燈綠酒ニ沈溺シ淪落ノドン底ニ墮落シ淫蕩頹廢ノ惡氣風ニ染ミ花柳病ニ罹ル青年者流ノ少カラスト聞ク。之カ排除ト應濟ハ經濟的風教的健康的方面ニ多大ノ效果ヲ擧ケ得ルモノテアルカ。

一〇 情操教育ニ關スル事項
 情操ノ教育趣味ノ向上ヲ圖リ生活ニ潤ヒアラシムルカ爲ニ繪畫、寫眞、技藝品等ノ展覽會ヲ開催又ハ後援シ或ハ木彫藝術及家庭手藝品ノ製作

本國農夫

海軍品ノ世

輸入品ノ世

家畜類ノ飼養

養豚ノ世

養鶏ノ世

養蜂ノ世

豚ノ毛ノ馬ノ尻尾利用

林産品ノ加工

承德地方

椴ノ埋木材料ニテ工藝品製作

生活ノ訓練ナキモノハ其ノ自由ナル餘暇ニ道德上ノ墮落ヲ爲スモノトテ
アル。我從事員ノ勤務手當ハ充分ナリト謂ハスモ薄キモノテハナイ。
此ノ經濟的満足カ却ツテ其ノ品性ヲ懦弱ナラシメ、生活ノ緊張味ト事
務能率ヲ減退セシムル場合ヲ考慮スレハ滿洲ノ長キ冬季間ニ於ケル環
境ト閑時ノ利導ニ副業又ハ家庭工藝ノ獎勵ノ如キハ甚有益テアリ是ニ
ハ成ルヘク妥當普遍ナモノヲ選擇指導スヘキテアルカ滿洲チハ家庭ニ
於テ加工又ハ之ヲ工藝化セルモノ實質的ニ極メテ少イ
農産品蔬菜類ノ生産ト其ノ貯藏及加工
蠶、蓆、叭ノ製作、馬鈴薯ノ切干、ピクルス（錦州）
家畜類ノ飼養、養豚、養鶏、養蜂
豚ノ毛、馬ノ尻尾利用
林産品ノ加工
承德地方
椴ノ埋木材料ニテ工藝品製作

一一 閑時利導

吉林地方

菌ノ繁殖、植樹種子ノ採集

鐵嶺、吉林

松ノ種子採集、イタチハダノ籠細工製造、裝具、家具ノ製作、

葉樹ヲ粉末ニシテ線香作製、白樺細工

園藝、果樹栽培

熱河、錦州地方 棗、杏子、林檎、茶、胡桃

奉山線 莓

家庭工藝品

四平街 ムスパン

高粱稗細工

23

大興股份有限公司ニ於テハ百二十箇所ニ滿洲土産ヲ蒐集又ハ生産ヲ
計畫シ、新京ニテハ人形工場ニ滿人子女十數名ヲ養成シ藝術人形ニ
百餘種ヲ製作シ奉天ニハ小倉圓平、新京ニ赤木某氏亦同様人形藝術
ニ精造シツツアリ現ニ滿洲土産トシテ天津人形ノ輸入ハ數十萬圓ヲ

1. 各種職業の発展と生活の向上
 2. 各種職業の発展と生活の向上
 3. 各種職業の発展と生活の向上
 4. 各種職業の発展と生活の向上
 5. 各種職業の発展と生活の向上
 6. 各種職業の発展と生活の向上
 7. 各種職業の発展と生活の向上
 8. 各種職業の発展と生活の向上
 9. 各種職業の発展と生活の向上
 10. 各種職業の発展と生活の向上
 11. 各種職業の発展と生活の向上
 12. 各種職業の発展と生活の向上
 13. 各種職業の発展と生活の向上
 14. 各種職業の発展と生活の向上
 15. 各種職業の発展と生活の向上
 16. 各種職業の発展と生活の向上
 17. 各種職業の発展と生活の向上
 18. 各種職業の発展と生活の向上
 19. 各種職業の発展と生活の向上
 20. 各種職業の発展と生活の向上
 21. 各種職業の発展と生活の向上
 22. 各種職業の発展と生活の向上
 23. 各種職業の発展と生活の向上
 24. 各種職業の発展と生活の向上
 25. 各種職業の発展と生活の向上
 26. 各種職業の発展と生活の向上
 27. 各種職業の発展と生活の向上
 28. 各種職業の発展と生活の向上
 29. 各種職業の発展と生活の向上
 30. 各種職業の発展と生活の向上
 31. 各種職業の発展と生活の向上
 32. 各種職業の発展と生活の向上
 33. 各種職業の発展と生活の向上
 34. 各種職業の発展と生活の向上
 35. 各種職業の発展と生活の向上
 36. 各種職業の発展と生活の向上
 37. 各種職業の発展と生活の向上
 38. 各種職業の発展と生活の向上
 39. 各種職業の発展と生活の向上
 40. 各種職業の発展と生活の向上
 41. 各種職業の発展と生活の向上
 42. 各種職業の発展と生活の向上
 43. 各種職業の発展と生活の向上
 44. 各種職業の発展と生活の向上
 45. 各種職業の発展と生活の向上
 46. 各種職業の発展と生活の向上
 47. 各種職業の発展と生活の向上
 48. 各種職業の発展と生活の向上
 49. 各種職業の発展と生活の向上
 50. 各種職業の発展と生活の向上
 51. 各種職業の発展と生活の向上
 52. 各種職業の発展と生活の向上
 53. 各種職業の発展と生活の向上
 54. 各種職業の発展と生活の向上
 55. 各種職業の発展と生活の向上
 56. 各種職業の発展と生活の向上
 57. 各種職業の発展と生活の向上
 58. 各種職業の発展と生活の向上
 59. 各種職業の発展と生活の向上
 60. 各種職業の発展と生活の向上
 61. 各種職業の発展と生活の向上
 62. 各種職業の発展と生活の向上
 63. 各種職業の発展と生活の向上
 64. 各種職業の発展と生活の向上
 65. 各種職業の発展と生活の向上
 66. 各種職業の発展と生活の向上
 67. 各種職業の発展と生活の向上
 68. 各種職業の発展と生活の向上
 69. 各種職業の発展と生活の向上
 70. 各種職業の発展と生活の向上
 71. 各種職業の発展と生活の向上
 72. 各種職業の発展と生活の向上
 73. 各種職業の発展と生活の向上
 74. 各種職業の発展と生活の向上
 75. 各種職業の発展と生活の向上
 76. 各種職業の発展と生活の向上
 77. 各種職業の発展と生活の向上
 78. 各種職業の発展と生活の向上
 79. 各種職業の発展と生活の向上
 80. 各種職業の発展と生活の向上
 81. 各種職業の発展と生活の向上
 82. 各種職業の発展と生活の向上
 83. 各種職業の発展と生活の向上
 84. 各種職業の発展と生活の向上
 85. 各種職業の発展と生活の向上
 86. 各種職業の発展と生活の向上
 87. 各種職業の発展と生活の向上
 88. 各種職業の発展と生活の向上
 89. 各種職業の発展と生活の向上
 90. 各種職業の発展と生活の向上
 91. 各種職業の発展と生活の向上
 92. 各種職業の発展と生活の向上
 93. 各種職業の発展と生活の向上
 94. 各種職業の発展と生活の向上
 95. 各種職業の発展と生活の向上
 96. 各種職業の発展と生活の向上
 97. 各種職業の発展と生活の向上
 98. 各種職業の発展と生活の向上
 99. 各種職業の発展と生活の向上
 100. 各種職業の発展と生活の向上

リト

錦州、齊齊哈爾、瑯瑤ノ加工、カウズボタン、帶留、飾釦等
 林西、烏丹城、赤峰、承德地方 絨氈製造
 洮南、齊齊哈爾、吉林、奉天ニハ女子手藝學校アリ家庭工藝品ト
 シテ優秀ナルモノヲ製作シアリ

一二 俱樂部ニ關スル事項

俱樂部ハ地方ニ於ケル文化的生活ノ焦點タルヘキ使命ヲ有スヘキモノ
 テ、社交娛樂ノ中心テアルハカリテナク實ニ精神的活動ノ源泉トシテ
 協同的觀念ノ培養機關タラシメネハナラヌ。彼ノスラヴ舊國家カ北鐵
 沿線ノ文化ヲ増進スルカ爲巨費ヲ惜マス輪奐ノ宏大莊美ナル俱樂部ト
 教會堂ト公園トヲ住宅街ノ中央ニ施設シ、居住國民ニ到ル處我家青山
 的意氣ト土著觀念ヲ與ヘ生活ノ幸福ヲ享樂セシメタル雄圖ハ實ニ感嘆
 ニ値スル。其ノ維持經費モ鐵道ニ於テ莫大ノ補助ヲ與ヘ、經營ハ文化
 的內容ノ充實シタ明朗ノモノデアツタ。然ルニ北鐵移讓後一年ニ垂ン
 トシ俱樂部經營ニ關シテハ未タ根本的對策ナク、小職ノ見タル西部線

1. 本會の目的は、地方の発展と住民の福利を促進し、地方自治の推進に資することである。

2. 本會の業務は、地方の調査、研究、宣傳、指導、訓練、及び地方自治の推進に資する一切の事業を執行することである。

3. 本會の組織は、会長、副会長、理事、監事、及び各部会（調査部、研究部、宣傳部、指導部、訓練部）に組織する。

4. 本會の財政は、会費、寄附金、及び地方自治体の補助金に依り成る。

5. 本會の活動は、地方自治体の協力を得て執行する。

6. 本會の活動は、地方自治体の発展と住民の福利を促進し、地方自治の推進に資することである。

7. 本會の活動は、地方自治体の調査、研究、宣傳、指導、訓練、及び地方自治の推進に資する一切の事業を執行することである。

8. 本會の活動は、地方自治体の発展と住民の福利を促進し、地方自治の推進に資することである。

9. 本會の活動は、地方自治体の調査、研究、宣傳、指導、訓練、及び地方自治の推進に資する一切の事業を執行することである。

- 5 會員組織トシ委員ヲ選任シ其ノ運営ニ利害ト興味ヲ持タシメ、會長ハ當該地方ノ站長、所長等ヲ任ス
- 6 俱樂部經費ハ專業收入、會費、寄附金ニ依リ成ルヘク獨立の自治經營ニ任セ路局補助金ヲ縮少スヘシ
- 7 地方ノ福祉、生活ノ向上ニ關スル問題ヲ考慮シ教化、保健、生活慰安ノ堅實ナルセンタートシテ專業ノ運営ニ遺憾ナキヲ期スヘシ
- 8 施設專業共ニ地方ノ環境ト要求ニ應ジ實際ニ適切ナルモノタルヘシ
 - 講演、講習、諸集會、圖書館、郷土博物館、團體指導保健、體育、健康相談、リタリエーション
 - 映畫、演戲、音樂、舞踊、ラヂオ、蓄音機、撞球、圍碁
 - 人事相談
- 慰安會（軍醫慰安敬老其ノ他）
- 食堂、バー、理髮、簡易宿泊、生活必需品供給

9 專業ノ遂行ハ周到ナルプログラムト共ニ豫算ニ依ルヘシ

此上... 體育運動... 國民ノ... 健全ニハ大シタ良影響ヲ與ヘテ居ナイト謂フノハ一ツ考慮ノ餘地カア
ル體育ハ決シテ一箇ノ技術ノ上ニノミ満足サルヘキモノテナク又諸種
運動競技ノ過度ナルコトカ身體機能上ニ及ホス弊害モ充分ニ考慮シ保
健ヘノ根本的規範ヲ定ムルコトカ肝要テアル健康ノ保全ニハ少クトモ
科學的知識ト經驗ヲ以テシ氣候、風土、民族の身心ノ機能上ニ於ケル
特徴性別、年齢、體質等ニ於ケル實際生活ニ適應スル健康ノ訓練及習
慣性ノ體得ニ保護指導ヲ加ヘ更ニ進ンテ自然的環境ヲ征服スヘキ忍耐
勇氣、節制、協和ノ諸徳ヲモ強靱正調ナラシメ明朗ニシテ豊カナ情操
ノ陶冶ノ爲ニモ貢獻スヘキテアル
體育ノ指導ニハ専門的知識ト經驗ヲ有スル指導家 必要トスルト共ニ
其ノ行政ニハ體育ノ根本理念ヲ鮮明ニシ十二分ナル注意ノ許ニ正當ナル
方針トプログラムヲ確立シテ之ヲ運用シ對抗競技ノ正當ナル發達ヲ
モ勿論企劃スヘキテアル體育運動ハ左ノ四種ニ分類シテ之ヲ考慮スル
コトカ出來ル

ルスポーツヤ體育運動カ盛ンニ行ハルル様ニナリシニモ拘ラス國民ノ
保健ニハ大シタ良影響ヲ與ヘテ居ナイト謂フノハ一ツ考慮ノ餘地カア
ル體育ハ決シテ一箇ノ技術ノ上ニノミ満足サルヘキモノテナク又諸種
運動競技ノ過度ナルコトカ身體機能上ニ及ホス弊害モ充分ニ考慮シ保
健ヘノ根本的規範ヲ定ムルコトカ肝要テアル健康ノ保全ニハ少クトモ
科學的知識ト經驗ヲ以テシ氣候、風土、民族の身心ノ機能上ニ於ケル
特徴性別、年齢、體質等ニ於ケル實際生活ニ適應スル健康ノ訓練及習
慣性ノ體得ニ保護指導ヲ加ヘ更ニ進ンテ自然的環境ヲ征服スヘキ忍耐
勇氣、節制、協和ノ諸徳ヲモ強靱正調ナラシメ明朗ニシテ豊カナ情操
ノ陶冶ノ爲ニモ貢獻スヘキテアル
體育ノ指導ニハ専門的知識ト經驗ヲ有スル指導家 必要トスルト共ニ
其ノ行政ニハ體育ノ根本理念ヲ鮮明ニシ十二分ナル注意ノ許ニ正當ナル
方針トプログラムヲ確立シテ之ヲ運用シ對抗競技ノ正當ナル發達ヲ
モ勿論企劃スヘキテアル體育運動ハ左ノ四種ニ分類シテ之ヲ考慮スル
コトカ出來ル

國情報處ノ宣傳映畫ト文教部軍政部等ニモ少數ノ所藏フキルムアリ

映畫工作 滿洲ノ映畫界ハ大體四系統ニ分レ在留日本人ヲ觀客トス
ルモノハ日本及歐米映畫トシ在留歐米人及國內一般人ヲ觀客トスルモ
ノハ歐米映畫(特ニ哈爾濱)トシ滿人ヲ對手トスルモノハ中國映畫テ
アツテ配給映畫會社ハ米國九、歐州三、外五カアリ滿洲テハ滿鐵及滿
洲國情報處ノ宣傳映畫ト文教部軍政部等ニモ少數ノ所藏フキルムアリ
映畫館數ハ百八館演藝場一一七アリ何レモ使用料高キ爲入場料モ安カ
ラス總局ノ巡映ハ慰藉娛樂ノ外ニ教化宣傳ノ使命ヲモ有スヘキモノテ
總局ニ於テハフキルムライブライノ充實ヲ期シ其ノ配給ニ遺憾ナカ
ラシムル様ニセネハナラヌ滿洲文化ノ工作ニ於テ各人ノ切實ニ感スル
コトハ滿人向教化映畫ノ尠少ナコトテアルカ今日ノ場合トシテハ滿洲
ニアル映畫關係ノ諸機關ト密接ナル連絡ヲ結フ團體ヲ組織シ又ハ各所

ノ慰藉ヲ目的トシ其ノ事業ヲ遂行スル上ニ於テ何ヨリモ民族融和ヲ主
旨トシ人心ノ善導ニ充分ナル考慮ヲ拂フヘキハ勿論テ特ニ此ノ方面ノ
直接擔當者ハ徒ニ優越感ヲ抱カス親切ト忍耐ヲ以テ奉仕的精神カナク
テハナラヌ

ニアル映畫關係ノ諸機關ト密接ナル連絡ヲ結フ團體ヲ組織シ又ハ各所

二 醫務機關ノ普及ニテハ、醫務ノ普及ニハ、急務ニシテ、共ニ富山左派

ニ、後、其ノ普及ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急ノ問題ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

救急病ノ救済ニシテ、一、救急病ノ救済ニシテ、

藥ノ方法モ考慮セラル

三 社會調査ニ努メ不健全ナル社會相ヲ恭除シ地方ノ福祉ヲ増進シ人
類ノ幸福ニ貢獻ス

四 社會專業ハ社會ノ隣保相扶ノ精神ニテ行ヒ之ヲ一般化シ大衆化ス
五 各地方ノ官署又ハ社會專業團體ト密接ナル連絡ヲ持チ之等ヲ助成
ス

六 貧困ノ救済ヨリ防 貧ヘノ對策ヲ重視シ積極的自立更生主義ヘノ
轉換ヲ講ス

七 孤獨鰥寡無告ノ窮民ヲ憫ミ之カ救済ヲ各機關ニ託ス

八 無職ノ放浪者善導

九 國鐵沿線ニ散在スル白露天ハ哈爾濱ノミニテモ一萬七千其ノ他沿
線地方ニ一萬五千アリ其ノ七割ハ失職者ニシテ其ノ困窮者シク之カ
救済ハ滿洲國ニ於ケル相當ニ大キナ社會問題ヲ滿人ノ冬季ニ於ケル
施粥救済ト共ニ考慮ヲ要ス

一 國鐵本來ノ使命ニ身命ヲ捧ケテ其ノ分ヲ盡スハ祖國ニ對スル忠誠ナ
 リ
 二 日滿不可分ノ根本精神ヲ會得シ常ニ國民的覺悟ヲ明ニスルト雖徒ニ
 日本主義一之ハ腹ニ覺悟シテ口ニ謂フ可キニ非ス一ヲ強辯スヘカラス
 三 建國ノ理念ヲ明徹ニシ善隣ノ好誼ヲ敦フシ私心ヲ挾マス一里ノ公役
 ニハ一里ヲ行クノ犧牲奉仕ノ精神アリテ然ルヘシ
 四 開拓者トシテノ牢固タル自信ヲ以テ凡ユル困難ヲ打破スヘシ
 五 文化運動ノ先驅者トシテ篤實格勤以テ德操信念智識ヲ長養シ從事員
 ノ儀表タルコトヲ期スヘシ
 六 己ニ克チ禮讓ヲ復シ忠懇ヲ以テ紀綱トシ暖々トシテ内ニ光ヲ含メ言
 行ヲ慎ムヘシ
 七 常ニ意ヲ世局ノ推移ト人心ノ趨向ト環境ノ實情ニ窮メ中正以テ其ノ

福祉事業ニ從事スル者ノ心得

一 福祉事業ノ運営ハ殊ニ其ノ人ニ非サレハ行ヒ難シ人アリテ後方法アリ
 己其ノ人ニ當ルノ心懸ケアルヘシ
 二 國鐵本來ノ使命ニ身命ヲ捧ケテ其ノ分ヲ盡スハ祖國ニ對スル忠誠ナ
 リ
 三 日滿不可分ノ根本精神ヲ會得シ常ニ國民的覺悟ヲ明ニスルト雖徒ニ
 日本主義一之ハ腹ニ覺悟シテ口ニ謂フ可キニ非ス一ヲ強辯スヘカラス
 四 建國ノ理念ヲ明徹ニシ善隣ノ好誼ヲ敦フシ私心ヲ挾マス一里ノ公役
 ニハ一里ヲ行クノ犧牲奉仕ノ精神アリテ然ルヘシ
 五 開拓者トシテノ牢固タル自信ヲ以テ凡ユル困難ヲ打破スヘシ
 六 文化運動ノ先驅者トシテ篤實格勤以テ德操信念智識ヲ長養シ從事員
 ノ儀表タルコトヲ期スヘシ
 七 己ニ克チ禮讓ヲ復シ忠懇ヲ以テ紀綱トシ暖々トシテ内ニ光ヲ含メ言
 行ヲ慎ムヘシ
 八 常ニ意ヲ世局ノ推移ト人心ノ趨向ト環境ノ實情ニ窮メ中正以テ其ノ

凡 諸君之志ヲ世間ノ諸人ノ心ニ透ラシムルニ當リ、其ノ中至以テ其ノ
行ヲ盡ムヘシ

一 己ノ志ヲ強クシテ、他人ノ志ヲ弱クシテ以テ勝ルヘシ

二 己ノ志ヲ強クシテ、他人ノ志ヲ強クシテ以テ勝ルヘシ

三 己ノ志ヲ強クシテ、他人ノ志ヲ強クシテ以テ勝ルヘシ

四 己ノ志ヲ強クシテ、他人ノ志ヲ強クシテ以テ勝ルヘシ

五 己ノ志ヲ強クシテ、他人ノ志ヲ強クシテ以テ勝ルヘシ

六 己ノ志ヲ強クシテ、他人ノ志ヲ強クシテ以テ勝ルヘシ

七 己ノ志ヲ強クシテ、他人ノ志ヲ強クシテ以テ勝ルヘシ

取捨ヲ審ニシ性ヲ盡シ以テ命ニ至ルヘシ

九 的確周到ノ用意ヲ以テ事ニ當リ、施シテ慎ンテ念ハス名ヲシテ實ニ過
キザラシメ小事ニ忠信ナルヘシ

一〇 頭ト心ト足ヲ常ニ備カセ本ヲ慎ミ終ヲ全フシ何處迄モ對手ノ親切
ナル伴侶トナルヘシ

一一 徒ニ理論鬭争ニ流レス道理ヨリハ學口實行ニ依リ功名ヲ競ハス嫉
視排濟ナカルヘシ

一二 敬天愛人廉恥節義ノ風ヲ勵マスヘシ

一三 世業土俗ニ留意シテ民生ヲ教フシ國民生活ノ整調ト自治ノ訓練ヲ
圖ルヘシ

一四 智ト情ト意ノ圓滿ナル教養ヲ理念トシ福祉ノ増進ヲ圖ルヘシ

